

「夜空を見上げよう」シナリオ

はクリックをするところ



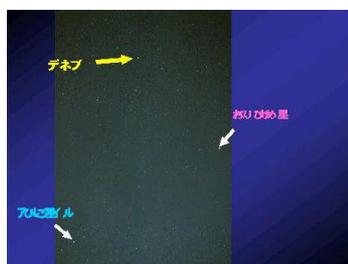
- 1 晴れた日に夜空を見上げてみましょう。このごろは、どんな星や星座が見られるでしょうか。また星座には、どんな物語があるのでしょうか。みなさんと一緒に星の世界をのぞいてみましょう。



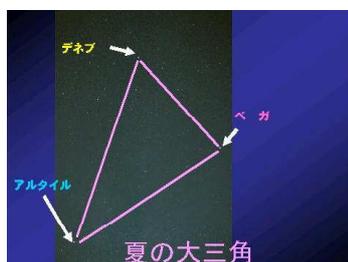
- 2 これは夏の夜空の写真です。ここに明るい星があります。みなさんもよく知っている「おりひめ星」です。ここにも明るい星があります。「ひこ星」です。七夕の物語に出てくる星です。



- 3 おりひめ星とひこ星は、1年に一度、7月7日にだけ、天の川をわたって会うことができると言われています。2つの星の間には天の川が流れています。



- 4 星の世界ではこの「おりひめ星」のことを「ベガ」と言います。「ひこ星」のことを「アルタイル」と言います。もう一つ明るい星があります。「デネブ」と言います。



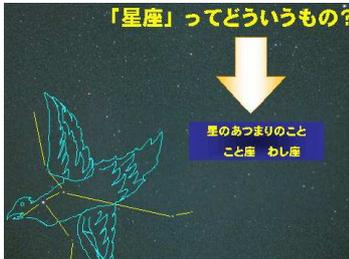
- 5 「ベガ」「アルタイル」「デネブ」の3つの星を結んでできる三角形を「夏の大きな三角」と言います。



- 6 「ベガ」のあたりにはたくさんの星が見えます。明るい星を結んでみましょう。「ベガ」と2つの星、近くの平行四辺形を合わせてできた星座を「こと座」と言います。楽器のたて琴を表しています。



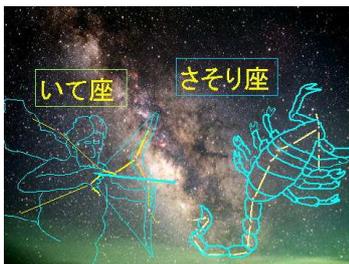
7 今度はアルタイルの近くの星を結んでみましょう。 この星座は「わし座」です。



8 「星座」とは何でしょうか？ 昔の人は、星の集まりを、いろいろな形に見立てて「こと座」や「わし座」のように名前をつけました。これを「星座」と言います。



9 夏の大三角の「ベガ」は「こと座」, 「アルタイル」は「わし座」, 「デネブ」は「はくちょう座」にあります。「はくちょう座」は昔のギリシャでは大神ゼウスが地上におりるために変身した姿と言われています。



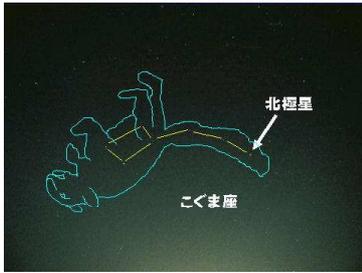
10 南の空の星です。釣り針のように星が並んでいます。「さそり座」です。隣には「いて座」があります。



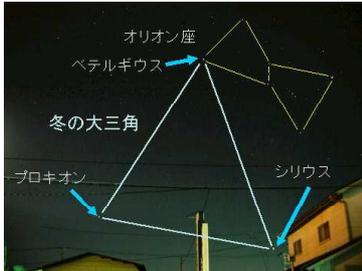
11 ここからは秋の夜空です。北の空に英語のWの形を縦にした明るい星があります。カシオペア座です。カシオペアはエチオピアの国の王ケフェウスの妻で、アンドロメダという美しい娘がいました。



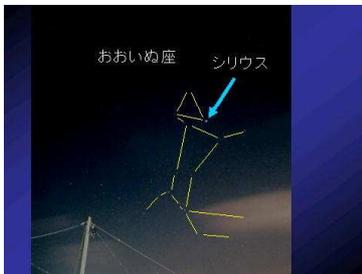
12 カシオペア座の端にある2つの星を結んで線をのばします。反対側も同じように2つの星を結んで線をのばします。線が交わった所から真中の星の方向へ 1倍, 2倍, 3倍, 4倍, 5倍と線を延ばしたところにある星が北極星です。



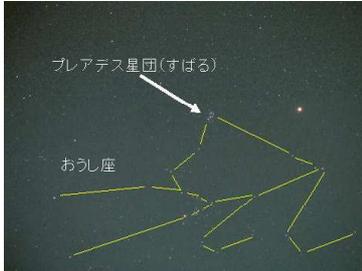
13 北極星は、こぐま座にある星でしっぽの先にあります。昔から北を知るために利用されてきました。



14 冬の夜空に変わりました。明るい星がたくさんあります。一番目立つ星座は「オリオン座」です。オリオンは、ギリシャ神話の海の神ポセイドンの子で、海を上を歩くことができた、腕のよい狩人だったと言われています。この「オリオン座」の「ベテルギウス」と「シリウス」と「プロキオン」の3つの星を結んでできる三角形を「冬の大きな三角」と言います。



15 「シリウス」は星座を形作る星の中で一番明るい星でギリシャ語の「焼きこがすもの」という意味からつけられました。「シリウス」は「おおいぬ座」にあります。



16 オリオン座の近くには「おうし座」があります。その中に青白い星の集まりが見えます。プレアデス星団です。日本では「すばる」と呼ばれています。



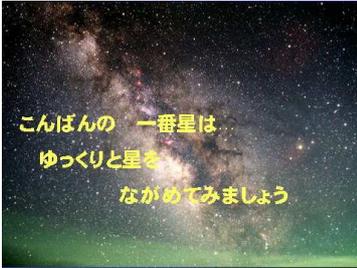
17 これ以外にも望遠鏡を使うと輪のある星「土星」



18 縞模様が見える「木星」



19 約4000億個の星が集まっている「アンドロメダ大銀河」などを見ることができます。



20 ゆっくりと星を眺めてみましょう。(おしまい)